

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公

討議年月日: 令和 3 年 2 月 10 日

公表: 令和 3 年 3 月 10 日

事業所名 ほっぷ・すてっぷ横須賀

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点や課題・改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	部屋数はあるが、死角になってしまう点もある為、部屋ごとに職員が見守れるよう配慮している。
	2	職員の配置数は適切である	4	0	概ね適切である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	2	バリアフリー化はできていないが、床にクッションを敷き、段差をなくしたり転倒の際の怪我を軽減するよう努めている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	ミーティングの際に職員間で話し合い、情報を共有している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年に一回アンケート調査を実施し、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	第三者による外部評価は行えていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	積極的に研修等に参加するようにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	アセスメントツール等は使用出来ていない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	職員全員でプログラムの立案を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2	コロナ禍で外出出来ないということもあり、活動プログラムが固定化してきているところはある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	1	3	現状としては課題をきめ細やかには設定出来てない為、今後は支援計画にも盛り込んでいきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	支援開始前にミーティングの時間を設け、支援の内容や役割分担について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	4	0	翌日のミーティングにて振り返りを行い、気づいた点等を共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	職員間で情報を共有し、支援の検証・改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	定期的にモニタリングを行っている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	0	地域交流の機会の提供は出来ていないが、その他の基本活動は複数組み合わせ支援を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児童発達支援管理責任者が参画している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	1	3	学校への送迎時に子どもの様子等の申し送りはあるが、年間計画や行事予定は教えていただいていない(保護者様に確認して下さいとのこと)。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	現在、医療的ケアが必要な子どもが事業所にはいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	4	中高生対象の放デイの為、保育所や児童発達支援事業所等との間では情報を共有出来ていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	4	要望あれば情報の提供等行いたい、卒業後どの障害福祉サービス事業所へ移行するかを全員は把握できていない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	積極的に研修等に参加するようにしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	現在、障がいのない子どもとの交流はないが、イベント等行事で交流する機会も設けていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	4	機会があれば積極的に参加していきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	送迎時に発達の状況の話や相談を受けることがある。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	4	ペアレント・トレーニングについて詳しく理解できていない為、機会があれば研修等に参加し、知識を深めていきたい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時や面談の際に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	保護者様より話をきいたり、可能であれば助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	保護者会は開催していないが、ご要望があればそのような機会も設けていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	子どもや保護者様より苦情があった際は、職員間で認識が共有された課題や改善すべき点について検討を行い、速やかに改善の対応をはかっている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	SNSやお知らせにて、活動概要や行事予定等の情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	4	0	個人情報の漏洩には十分注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1	自宅への送迎の際に、保護者様にお話をうかがっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	コロナ禍もあり、地域交流の行事等行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	面談等の機会に保護者様に周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	定期的に防災グッズの確認や防災訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	0	4	虐待防止のための事業所内研修も、今後行っていきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	やむを得ず身体拘束を行う場合には、子どもや保護者様に事前に十分に説明し了解を得ている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	事前にアレルギーの有無を確認し、提供しない等の対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	実際にあったヒヤリハットも合わせて、事業所内で共有している。